

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20016
課題名	直腸肛門奇形（鎖肛）に対する仙骨会陰式肛門形成術（Stephens-Smith 手術）の成績についての検討
研究期間	西暦 2020 年 5 月 28 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
研究の対象	1991 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの直腸肛門奇形（鎖肛）と診断され、根治手術を施行された患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、手術記録、病理検査結果など） <input type="checkbox"/> 試料：手術で採取した組織（対象臓器等名：）
研究の意義、目的	直腸肛門奇形（鎖肛）は先天的にお尻に肛門の出口がうまく開いていない状態で、手術治療後にも排便機能獲得に難渋することがあります。今回、今まで行われてきた手術で、患者さんの成長過程における排便機能評価を行うことを目的としています。特に中間位鎖肛に対する根治手術は仙骨会陰式肛門形成術であるが、骨盤底筋群の切開の有無により、後方矢状切開法の Pena 手術（P 法）と Stephens-Smith 手術（S 法）の 2 つに区別されます。 本邦では従来 S 法を行っていた施設も P 法に移行し、P 法を施行している施設が圧倒的に多い。当施設では以前より骨盤底筋群の切開を行わない S 法を導入しており、その術後成績について検討し、報告します。
研究の方法	1991 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの期間で、当科にて、直腸肛門奇形（鎖肛）とされ、根治手術を受けられた患者さんについて、主にカルテを用いた診療情報・画像情報を検討します。
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 旭川医科大学 外科学講座血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499 研究責任者： 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 講師（学内） 宮城 久之